

2010年7月14日

## 富士フィルムと慈恵医大、iPadで脳血管障害の治療支援

富士フィルムは13日、東京慈恵会医科大学と共同で脳血管障害の治療支援システムを開発すると発表した。米アップルの多機能携帯端末「iPad(アイパッド)」などを使い、脳卒中などの発症初期段階で脳外科専門医と現場の医師が遠隔で処置情報をやり取りし、早期の治療につなげられるようにする。年内にも試作版を開発、2011年中の製品化を目指す。

慈恵医大が開発を進めていた、iPadやiPhone(アイフォン)対応の脳血管障害治療支援システム「アイストローク」をベースにシステムを開発する。

[日経産業新聞]